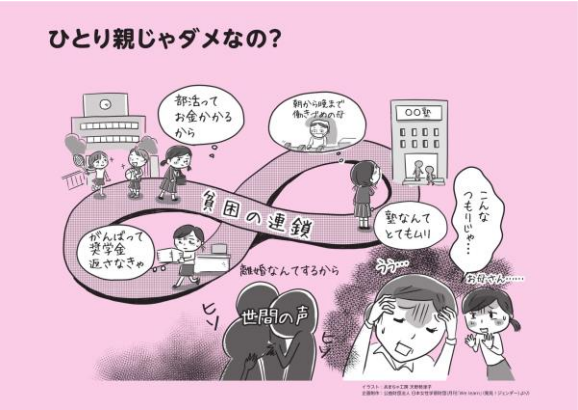
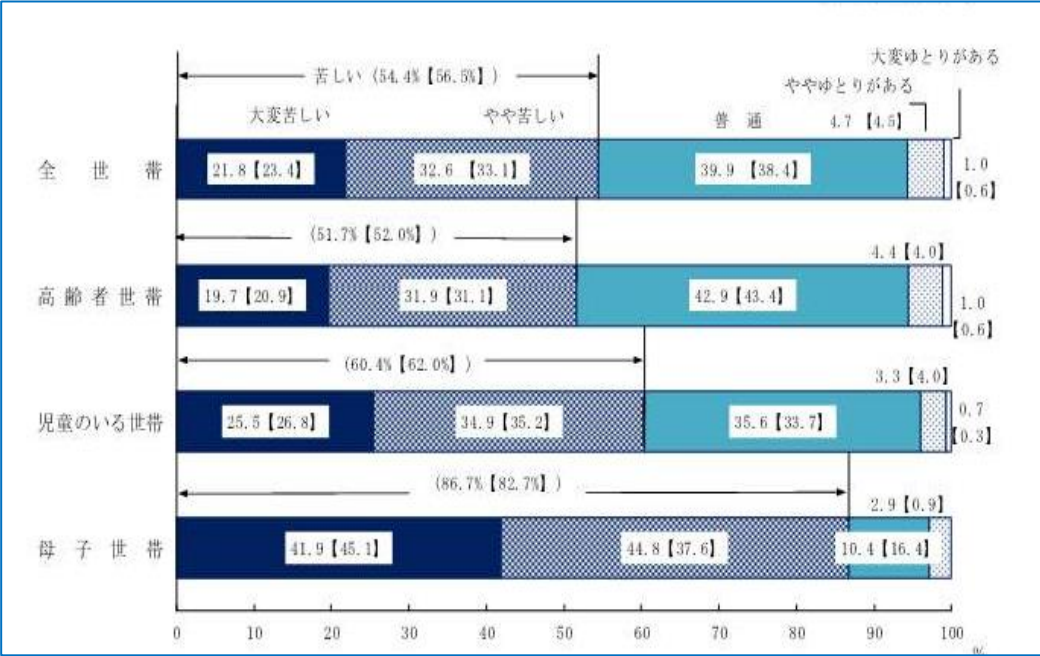


# 発見！ジェンダーパネル NO.6 ひとり親じゃダメなの？



2019年の国民生活基礎調査（厚生労働省）によると、ひとり親の貧困率は**48.3%**、生活意識を「苦しい」と答えた割合が母子世帯で**86.7%**でした（右図）。男女間の賃金格差や子育てのために雇用が安定しないこと、離婚の場合は養育費が支払われないこともあり、厳しい生活状況が見受けられます。親の貧困は子どもの貧困につながる場合があります。「部活に参加できない」、「進学をあきらめ、安定した職に就けない」、または「進学しても奨学金の返済に苦しむ」など、貧困は連鎖するとも言われています。親がどのようなライフスタイルを選んでも子どもの機会が奪われないために、支援制度の充実とともに、人々の意識も見直す必要があります。

各種世帯の生活意識（2019年）



厚生労働省『国民生活基礎調査の概況』2019より抜粋



グラフ詳細はこちら→